

## 平成19年度 感染症発生動向調査事業関連のウイルス検査結果

保健科学部門 ウィルス担当

当所では平成4年から福岡県結核・感染症発生動向調査事業に参画しており、現在、8医療機関9病原体定点を対象に検査を行っている。

表1に臨床診断名別ウイルス検査結果を示した。平成19年度、病原体定点より搬入された検体は、182検体

(患者165名)で、検体数は昨年度(250検体、患者208名)より減少した。

搬入された検体は、インフルエンザが例年どおり最も多く、次に感染性胃腸炎と続いた。

表1 平成19年度臨床診断名別ウイルス検査結果

臨床診断名	患者数	検体数	検出数	検体	検出ウイルス	(株数)
肝炎	2	3	0	咽頭ぬぐい液 ふん便		
急性脳炎	1	2	0	咽頭ぬぐい液 ふん便		
インフルエンザ	57	57	41	咽頭うがい液 咽頭ぬぐい液 鼻汁	単純ヘルペス1型 インフルエンザAH3型 インフルエンザAH1型 インフルエンザB型 インフルエンザAH1型 インフルエンザB型	(1) (6) (6) (1) (3) (1)
感染性胃腸炎	36	40	21	咽頭ぬぐい液 尿 ふん便	ムンプス	(1) (20)
咽頭結膜熱	4	4	2	咽頭ぬぐい液 ふん便	アデノウイルス2型 アデノウイルス3型	(1) (1)
手足口病	13	13	4	咽頭うがい液 咽頭ぬぐい液	エンテロウイルス71型	(2)
ヘルパンギーナ	10	10	1	咽頭ぬぐい液	コクサッキーA6型	(1)
無菌性髄膜炎	6	10	3	咽頭ぬぐい液 髄液 鼻汁 ふん便	コクサッキーB5型	(1)
その他	36	43	7	咽頭ぬぐい液 喀痰 血清 結膜ぬぐい液 気管吸引液 髄液 ふん便	コクサッキーB5型 コクサッキーB2型 コクサッキーB2型 ノロウイルス	(1) (1) (1) (1)
計	165	182	79		エンテロウイルス71型 アデノウイルス31型	(1) (1)

表2に月別、検査法別ウイルス検出状況を示した。ウイルス検出は冬期に集中した。

ウイルスの検出は細胞(RD-18S, Vero, Vero/hSLAM, HEp-2, CaCo-2, MDCK)培養, Polymerase Chain Reaction(PCR)等で行った。その結果、79株のウイルス

が検出(検出率43.4%)された。

今年度においてインフルエンザウイルスは1月以降に分離され、AH1とAH3型が流行した。なお、詳細は「福岡市におけるインフルエンザの流行状況(2007年度)」を参照。

表2 平成19年度月別、検査法別ウイルス検出状況

検出ウイルス	月別ウイルス検出状況												検査法別ウイルス検査状況								
													検出数	細胞培養法							
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		RD-18S	Vero	Vero/hSLAM	HEp-2	CaCo-2	MDCK	PCR	
コクサッキーA6型						1							1	1					1		
コクサッキーA16型						2							2	2				2	2		
コクサッキーB2型						2							2	2				2	2		
コクサッキーB5型						2							2	1				2	2		
エンテロウイルス71型		2				1							3					2	2		
単純ヘルペスウイルス1型													1	1	1	1		1	1		
インフルエンザAH1型													1	9	10	20			15	18	
インフルエンザAH3型		1											1	1	8	6	17		9	8	17
インフルエンザB型													1	1	2				2	2	
ムンプス													1					1			
ノロウイルス						13	6		2		21									21	
アデノウイルス1型	1	1											2					2	1		
アデノウイルス2型													1	1	2			2	2		
アデノウイルス3型		1											1					1	1		
アデノウイルス4型						1							1						1		
アデノウイルス31型													1	1		1		1	1		
計	1	4	3	1	1	5	0	13	9	13	22	7	79	4	11		1	24	41	37	21